

令和5年度新羽地区社会福祉協議会事業報告

事業名	事業結果報告
会報発行	<p>1 「ふくしの和」第39号(令和6年1月1日)4,300部を発行し、町内会員全戸に配布。編集委員を各町内会より選出してもらい、編集委員各自で記事を執筆した。各町内会・自治会の活動が参加者目線で記事になり写真を多く掲載し、見やすく親しみやすい紙面作りにした。賛助会費の使い道で小学校へのイヤーマフ寄贈の記事も詳しく掲載した。</p> <p>2 社協ニュース 年3回発行予定のところ2回の発行。賛助会員や各種募金のご協力者に、地区社協の活動内容を知ってもらえるよう工夫した。防災に関する記事を紙面に載せ、地域住民に考えるきっかけ作りを行った。</p>
研修・施設見学	<p>令和6年2月11日、ケアプラザにて研修会を実施した。 約50名の参加者があった。テーマは「新羽と水害」。 港北区役所の職員に講師を依頼し、もし新羽で水害が発生した場合の避難までの詳しい話を聞いた。参加者それぞれがどう行動するべきかを深く考えられる内容だった。</p>
児童福祉	<p>1 新羽小学校および新田小学校の新入学児童全員に、交通安全を願い黄色い帽子を入学説明会にて児童保護者に贈呈した。新羽小49個、新田小9個。</p> <p>2 新羽小学校に、イヤーマフ6台(@6,000円)を購入し、寄贈。イヤーマフは特別支援級にて使われるもので、耳全体を覆う防音保護具。聴覚過敏の子どもの学校生活改善に役に立っている。金額39,600円(税込み)。</p>
在宅援護	<p>民生委員・児童委員に協力していただき、高齢者世帯・ひとり親世帯等 気がかりな世帯へ慰問品を持って訪問し、近況の確認を行った。 慰問品は台所洗剤2本・ハンドソープ1本・20Lゴミ袋をセットにし、33世帯へ配られた。前年度は41世帯のため世帯数は減少となった。</p>
助成活動	<p>今年度助成金申請のあったものは次の通りである。</p> <p>申請内容と効果について</p> <p>1 新羽連合町内会防犯部 《20,000円》 年1回発行の文集「若い芽」の発行費の一部として申請。 新羽小学校・新田小学校・新羽中学校より作文を集め、入選者へ表彰状および賞品を授与した。子ども達には作文を書くにあたって、防犯について考えるきっかけ作りとなり、また出来上がった文集を回覧板などにて町民に読んでいただくことで町の防犯意識の向上につながっている。</p> <p>2 民生委員・児童委員協議会《135,000円》および保護司会《20,000円》 市民児協・区民児協会費および区保護司会会費に充当する目的で申請。 個人負担なく会費を納めることができた。</p>

事業名	事業結果報告						
<p>助成活動 つづき</p>	<p>3 ひっとプラン住民交流部会・健康づくり部会・情報部会合同《30,000円》 令和5年5月14日開催。初めてのイベント。新羽町内の企業や施設にチェックポイントを設け、スタンプラリーをしながら町内のことを知ってもらうイベント「第1回新羽地域クイズラリー」の全世帯当たりのチラシ、小学校へ配布チラシの印刷代6000枚ほかの費用として申請。当日はあいにくの天気だが、いろいろな人が楽しみながら町内を巡ってくれた。参加後のアンケートの結果では、参加者は乳幼児から80代まで幅広い年代であり、知らない工場等に驚きや発見があったとの声が多くあった。準備や当日の係りのやりくりが大変であったが、おおむねイベントとしては成功だった。</p> <p>4 みどりの輪きたにっば《20,000円》 令和6年3月30日(土) 13:30~15:00 光明寺駐車場を会場にして、歌とおしゃべりの会(お花見会)を開く。ギターに合わせて懐かしい歌を歌う会とモルックの体験会を実施する。歌の講師代やちらし印刷代ほかの申請。 当日は天気もよく、参加者も満足されていた。</p> <p>【その他助成活動】 新羽町連合町内会との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同敬老の集いが開かれないので、昨年同様、各町内会・自治会ごとの敬老イベントに対し3万円ずつ 《8町会 計24万円》の助成を行った。 <p>新規助成団体への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりの輪きたにっばが初の申請となった。 						
<p>賛助会員の 募集</p>	<p>前年比より会員増の計画を立て、町内会・自治会ごとに取り組んでいただいた結果、9件100の新規会員増となった。 町会加入者の減少や転出、事業所の減少などで口数の増加は難しい中、町内会・自治会のみなさまに取り組んで頂き、感謝申し上げます。</p> <p>賛助会費は 一口2千円にてお願いをしている。 新規増加は9件だが、転居・退会等により前年度より口数が減ったため、前年比増減金額は△56,000円となった。</p>						
<p>年末たすけ あい運動</p>	<p>前年度募金額 1,334,905円と比較すると26,495円増の1,361,400円となった。全額南町内会增加分にて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配分内容 <table border="0" data-bbox="341 1776 1206 1890"> <tr> <td>在宅援護配分は43世帯66人に</td> <td>281,000円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉施設等への活動補助金として2施設へ</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉団体への活動補助金として2団体へ</td> <td>155,000円</td> </tr> </table> <p>残額は港北区社会福祉協議会へ送り、港北区の障害者団体やその活動の助けとなった。また新羽地区の活動助成金としての配分もあった。</p>	在宅援護配分は43世帯66人に	281,000円	社会福祉施設等への活動補助金として2施設へ	30,000円	社会福祉団体への活動補助金として2団体へ	155,000円
在宅援護配分は43世帯66人に	281,000円						
社会福祉施設等への活動補助金として2施設へ	30,000円						
社会福祉団体への活動補助金として2団体へ	155,000円						

事業名	事業結果報告
自主事業	<p>9月の認知症を考える月間にあわせた新羽地域ケアプラザ主催【オレンジの輪プロジェクト2023～誰もが安心して暮らせる町 新羽】のスローガンのもと、認知症への理解を深めるきっかけ作りとして、新羽町内をテーマカラーのオレンジで彩るためマリーゴールドの花苗を7月と8月に購入した。花の里づくりの会からの寄附分と合わせて150個を配布した。</p> <p>本年度33,000円の支出。</p> <p>イベントの趣旨をご存じでない町外の方より「新羽町はなぜかオレンジが多いですね」という質問がでるほど、オレンジの輪が広まっている。認知症月間の理解につながることを期待する。</p>
総会・会議	<ul style="list-style-type: none"> • 総会 理事および評議員には書面による議案決議を提出していただき、常務理事会において、その場の参加者の賛否を加えたもので議決した。 書面による質問や意見には常務理事会で話し合いを設け、回答をした。 • 常務理事会を毎月行われる連長会のあとに開催した。また、事務局会議を月1回以上集まり、常務理事会の議題の作成等の話し合いを行った。 • 常務理事会での議事録を、各町内会・自治会の理事へお配りし、会議内容の周知を図った。 • 区社協主催の定期会議や、会長会への参加。 • 区社協主催の講習会